

省エネ等対策の検討・フロー(参考)

- はじめに
- 承認
- 計画検討
- 補助金
- 工事開始

管理組合に専門委員会を設置し、情報収集等も含め検討を開始する。
※マンションの築年数等により省エネ工事の種類と時期が異なる場合有。

長期修繕計画書にそのマンションに適した工事を追加して組合員の承認を得る。
※工事費用が修繕積立金内で収まらない場合は、別途協議(総会決議等)が必要。

長期修繕計画の約2年前を目途に工事実施の具体的な検討を開始する。
※コンサル・工事業者の選定は要注意。

補助金を活用する。
※年度ごとに、国・都道府県、市区町村による予算金額と内容が異なるので要確認。

タイミングの良い時期に工事を開始。
※工事保証部位・保証期間等の要確認。

省エネ等対策の メリット

電気料金が削減できる
災害時の備えになる
環境負荷も軽減できる

資産価値向上

マンション管理組合の皆さんへ

体験談

体験例

パークシティ溝の口 管理組合様

(川崎市高津区 築43年 12棟1,103戸)

工事
内容

窓サッシ・玄関ドア

(2023年6月~12月施工)

パークシティ溝の口では、窓サッシと玄関ドアの更新により、断熱性と気密性が大きく向上しました。
夏はリビングのエアコン1台でも住戸全体がほぼ快適に保たれるようになり、以前と比べて冷房時の負担が明らかに軽くなりました。
秋から初冬にかけては、外気温が10-15℃でも暖房なしで室温20℃前後を維持するなど、年間を通じて省エネ効果を実感しています。
寒い日に住戸内の湿度が高い場合には、アルミ枠にわずかな結露が生じることがありますが、総合的に見て快適性とエネルギー効率の向上に大きく寄与しています。



体験例

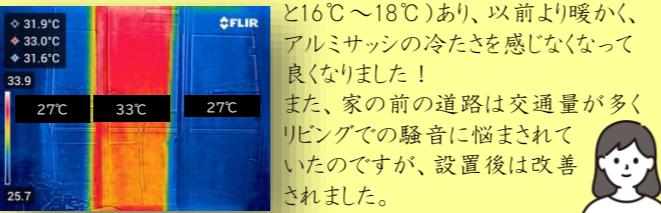
H.Y様

(川崎市多摩区在住 築21年 25世帯のマンションに居住)

工事
内容

内窓断熱リフォーム(掃き出し窓1箇所・窓3箇所)
(2025年8月施工)

リビングは南向きで設置前は暑かったのですが、設置後は暑さ感じなくなりました。
西向きの部屋も設置前の午後は西日で暑かったのですが、設置後は暑さが和らぎました。
今年の冬は、リビングの室温は20℃~22℃(設置前は暖房無しだと16℃~18℃)あり、以前より暖かく、アルミサッシの冷たさを感じなくなりました！
また、家の前の道路は交通量が多くリビングでの騒音に悩まされていましたが、設置後は改善されました。



中央は内窓が開いた状態
(サーモカメラ画像)

マンション管理に役立つ情報等

窓等のリフォーム

環境省、国土交通省及び経済産業省の連携による「住宅省エネ2026キャンペーン」が始まります。
先進的窓リノベ2026事業、みらいエコ住宅2026事業などの情報が掲載されています。



令和8年度の補助金情報は本紙発行時点で確定しておりません。
国・川崎市のホームページ等では、「窓のリフォーム」「太陽光発電」「EV用充電設備」の補助金の最新情報等を調べることができますので、ご活用ください。

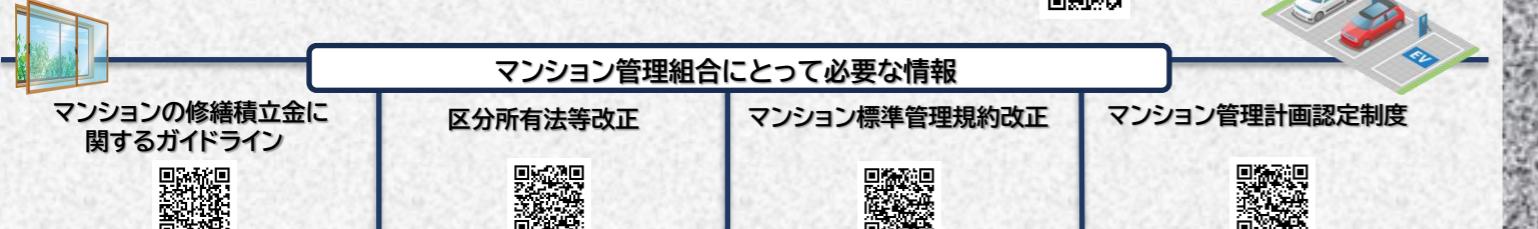
太陽光発電の設置

川崎市が運営している『かわさき太陽光広場』には、太陽光発電に関する補助金情報が掲載されています。



EV用充電設備

川崎市の共同住宅向けの補助制度が掲載されています。



▼本紙またはその他お問合せはこちら▼

下記「川崎市地球温暖化防止活動推進センター」までお気軽にお問合せください

■お電話からのお問合せ■

044-813-1313(水~日 10:00~17:00)



■専用フォームからのお問合せ■

右記QRコードの専用フォームよりお問合せください



地球温暖化が加速するなか、快適なマンションで過ごしませんか？

地球温暖化が加速し、気候が激変しています

～今後ますます増える“酷暑の夏日”に備えて住環境の対策を～

全国の猛暑日の年間日数は年々増加しています。特に2025年の夏は日本史上最も熱い夏となりましたが、それは地球温暖化の激化が大きく影響しています。

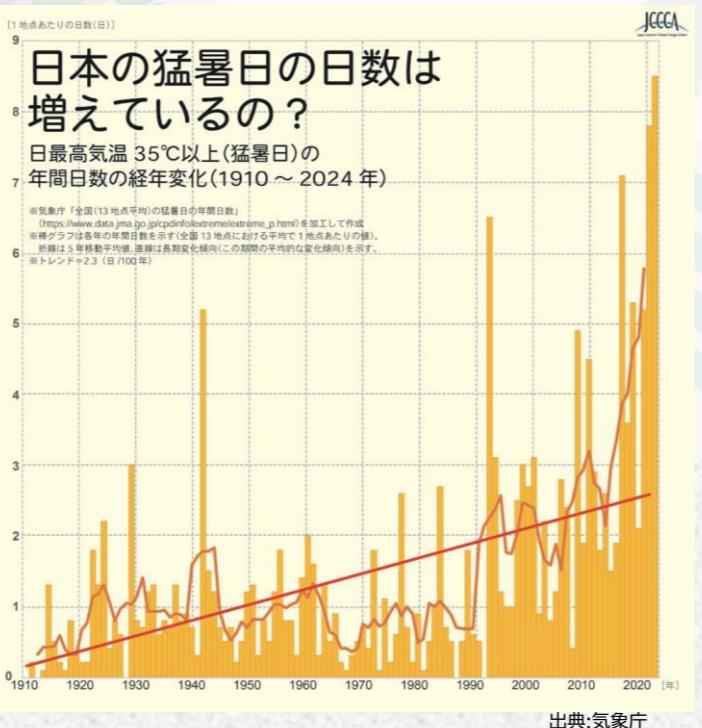
今後、ますます酷暑の夏日が増えていくと予測されますが、冬の「寒い部屋」対策も重要です。私たちの住環境を健康面、省エネの観点からも改善する必要があります。

猛暑の影響は「体調」「睡眠」に加え、「食生活にも影響」するといわれています。また、夏の暑さに対応するため、エアコンが長時間稼働することで家計に重くのしかかっています。これらに一番効き目のある対策のひとつが、住まいの断熱化です。

マンションの断熱を高めることで、外気温の変化の影響を受けにくくなり、冷暖房設備の省エネ化をすすめるだけでなく、健康面にも良い影響が生まれます。

夏季の熱中症、冬季のヒートショックを防ぐなど、健康的な生活を送る上で、今後の重要な要素となってきます。

断熱化や太陽光パネルの設置など脱炭素に資する助成制度を紹介し、多くの皆様に活用していただきたいと考えています。



窓断熱リフォーム

おすすめ

断熱で光熱費削減

住宅の熱の出入りの7割は窓やドア等の開口部から発生しています。断熱リフォームを行うことで、快適な室内になり、冷暖房エネルギーコストを大幅に削減できます。



お住まいの状況に合わせて適切な方法をご検討ください。



窓断熱リフォームは、省エネ以外にもこんなメリットが！

快適な室温を保つ

夏・冬ともに窓際でも快適に過ごせるので、入居者の満足度もアップします。



結露が激減するので、カビやダニの発生を防ぐ効果も期待できます。入居者の健康対策だけでなく、退去時の現状回復の経費も軽減します。

入居者の健康対策

ヒートショックや熱中症対策にも効果を発揮。高齢者やペットにも優しい住環境がつくれます。



防音性の向上



防音性に優れているので騒音の悩みも軽減できます。

太陽光発電設備と蓄電池

おすすめ

►►►お住まいのマンションから地球温暖化防止にも貢献します

マンションの屋根やカーポートに太陽光発電を設置し、蓄電池を備えることで、災害に強いマンションになります。同時に地球温暖化対策にも寄与します。災害リスクを減らすためには、食糧の備蓄だけでなく、電源などのエネルギーの確保は重要な課題です。

屋上全体に太陽光パネルを設置することも可能ですが、設置費用は大きくなります。小規模でも太陽光発電(戸建て住宅で設置されている規模 約4kW)と蓄電池を設置することで、停電になった時に、防災拠点の照明、スマホ等の充電、テレビ、パソコンへの電力供給ができます。

災害対策と省エネ対策など用途に合わせた設備を考えましょう



平時は、共用部の照明等に使うことで電気代が軽減できます。4kWの太陽光発電(初期費用:川崎市調べ 112万円)を設置することで、晴れていれば約20kWh/日、毎月約400kWhを発電しますので、共用部の電気使用量を削減することができます。停電が長期化しても、太陽光発電は蓄電池に充電できますが、ガソリン等を使う発電機は燃料の確保が課題となります。

おすすめ

電気自動車(EV)用充電設備

►►►マンションの利便性だけでなく資産価値の向上にもつながります

川崎市ではマンションへのEV用充電設備について様々な情報を発信中です！

EVマンション充電のススメ@かわさき

マンションにおけるEV活用の最新事情や設置に向けたQ&A、事例紹介、災害時の活用術等、様々な視点からEVの魅力やメリットを紹介しています。



▼詳しくはこちる▼



（補助金の概要）

補助対象設備	補助率	1基あたりの上限額	補助対象上限基数
普通充電設備	国補助金等を除いた額の4分の3	23万円	10基
充電用コンセントスタンド		23万円	20基
充電用コンセント		12万円	20基

（補助対象経費）

充電設備の購入費と設置工事費(消費税除く)

（補助対象者）

- 共同住宅の管理組合・所有者・リース会社等
- 国補助金の申請を行った方

▼詳しくはこちる▼



マンションへの出張説明会も実施中です！

お問合せ先・川崎市環境局地域環境共創課

T E L: 044-200-2530

E-Mail: 30kyoso@city.kawasaki.jp

